

第五十六期 祭式作法 中央研修会 開催

去る十一月八日から十二日の五日間、管長殿、教嗣殿、山縣祭事師範、矢島祭典課長、指導の下、本部にて第五十六期基本祭式作法中央研修会が開催されました。

熟練教師から初心者まで11名の参加者は、連日寝食を共にして各種研修科目を真剣に取り組み、時には祭式作法について奥の深い質問で講師を困らせる場面もありました。それも神仕えの心を習得された証と、講師も目を細めつつ熱心に指導がなされました。

最終日の大祠月次祭には、恒例の研修生による祭典奉仕が行われ、各自緊張しながらも誠心を大神様へ捧げました。今回は少数精鋭の研修で、内容も密度の濃いものとなり、閉講式では研修生一人ひとりに達成感と充実感の溢れる笑顔が輝いていました。

《研修会参加者》

石川隆 永田昌志 村元弥生
折田るみ 山内明美 宮本匡
山元孝子 益山千鶴子 岩下正行
曾我真規 仲田篤道



研修会便り

地方主催研修会が、京都かもがわ会館および、大教庁で開催されました。二日間の日程でしたが、研修生は熱心に祭式作法を学びました。



◆地方主催第十六期研修会

九月九日～十日
於、京都かもがわ会館

《研修会参加者》

山根泰雄 松山忠樹 足立吏彦
白井伸之 表錦淑 吉田千里代
吉田純一



◆地方主催第十七期研修会

十一月二十日、二十三日
於、大教庁

《研修会参加者》

平野雅仁
進藤麻紀子 杉浦万正

公益事業報告

宍野参元(日宗連幹事)は、日本宗教連盟理事長の代理として、次の大会で挨拶され、宗教文化振興の重要性と宗教協力による世界平和に実現を力強く呼びかけられました。



◆WCRP世界宗教者平和会議

日本委員会創立四十周年記念
世界宗教者まほろば大会
九月二十六日

◆奈良県新公会堂



世界連邦平和促進全国
の多様性を考える ― 信者と

◆世界連邦日本宗教者委員会

第三十二回全国大会

十一月二十六日

・大阪・念法真教総本部金剛寺
テーマ「生命の多様性を考える」

公告

宗教法人「扶桑教太祠」規則第二十四条に定める手続きを経て、下記のとおり財産を処分することになりましたので、宗教法人法第二十三条の規定によりて公告します。

平成二十二年十二月十四日
世田谷区松原一ノ七ノ二十
宗教法人 扶桑教太祠

代表役員 杉山一太郎

当該財産 世田谷区松原一丁目六十五番
宅地 面積五百十四・九三㎡
目的 京王電鉄の京王線高架事業により、軌道用地に使用されるため
方法 売却

相手方 京王電鉄株式会社

期日 平成二十三年三月末日

◆本年は、御開祖生誕四百七十年にあたります。御開祖様の御教えを一人でも多くの皆様に広げてまいりましょう。

「扶桑」発行元

扶桑教大教庁

〒1560043

東京都世田谷区松原

一七七一二十

電話 03(3327)0238